

雨水を長く保存して使おう!

立命館小学校

西尾湊都

1 研究のきっかけ

晴れた日に雨の時の水を花にあげることができないかを考えました。でもバケツにたまった雨の水は、晴れが**つづく**とすぐなくなるので雨の水を長い間ためておくことが**できる**かを研究しました。

(研究1)

①同じコップに水を5cm入れて①
②そのまま②回りにアルミをまく。
③小さな六のあいたふたをする④回りにアルミを
まき大きな六つきのふたをする。を、晴れた日
に外に4時間置いて水量と温度を測る。***まぜないため**

(実験の様子)



アルミ		12:30	16:30		
回り	ふた	水量	温度	水量	温度
○	○	5	25.5	5	30
×	○	5	25.5	4.9	30.5
○	×	5	25.5	4.8	31
×	×	5	25.5	4.7	33

④ふたをして回りをアルミでかむと水量がへらない。

(研究2)

研究1の結果を利用して雨をためて花に水をやるそうちの研究をしました。

(材料)

おけ、アルミシート、プラスチック板、アルミテープ、両面テープ、ジャロパイプ、ジョイント、接着材、シャワー口

(作り方)

- ① おけの水ぬき口に穴を開けて、ジョイントを接着材で着ける
- ② アルミシートを切って両面テープでおけの木目側に見占る。(アルミを全部着けると水の流がわからなくなるので、ちょっとだけすきまをあけました。)
- ③ プラスチック板の両側にアルミシートをアルミテープで見占る。
- ④ ③のプラスチック板を①のおけに取り付けるその時きりで穴を開けてひもでおけに取り付ける。
- ⑤ ジャロシャワー口ジョイントをつける。



↑
④の写真

②でつけた
すきま

←
⑤の写真

⑥ おけのジョイントとジャロのジョイントをパイプでつなげる。その時セ着材を使う。これで完成!



おけ

パイプ

ジャロ

完成写真



← 軽い植木はちたったらそのままとっていきま。
← これはその写真です。
上手にあげることができました。



ここまでにはくれない戸に水をあげるときは、ストリートにしてジョーロに水を入れてからあげればよいです。写真は、ジョーロに水を入れてるところです。

(最後に)

これをつかって、雨の水をためて、晴れの日にためた水をつかって、水道の水をあまりつかわないようにしていきたいと思いました。



500円で生物の働きで水をきれいにするフィルターを買って使いました。これですごくきれいなままつかえます。水道代より安いと思ったので買いました。